

大守 秀行

市議会だより

2025年4月吉日 No.42

発行責任者：大守秀行
〒710-8550 倉敷市玉島乙島7471番地
TEL:(086)525-2226
自宅：倉敷市中島1835-20

I. 「みらいを見据えたまちづくり」

1. 「財政の健全性」について

〈背景〉財政健全化の指標として、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」がある。なかでも「将来負担比率」は、財政健全化の指標として、将来の財政運営をどうすべきかを示す指標で、財政の健全度を判断する上で重要である。その推移は、令和元年度 43.1%、令和2年度 31.2%、令和3年度 3.3%、令和4年度 -7.7%、令和5年度 -2.5%。

Question 1 将来負担比率は、令和元年度から改善傾向にあり、令和3年度は大幅に改善されているがその要因は。また、今後は更に少子高齢化が加速し市税収入の減少が想定されるが、今後の将来負担比率の見込みは。

答弁：企画財政局 杉岡局長

- ①将来負担比率が令和元年度以降に改善しているのは、下水道事業の企業債残高が減少したことが主な要因で、今後においても企業債残高は減少する見込みとなっています。
- ②現在、公共施設個別計画に基づき、公共施設の複合化・長寿命化を進めており、財源として市債を発行する予定としていますが、交付税措置のある有利な市債を活用するため、交付税措置額は比率の算定から除かれ、将来負担比率は大きく悪化することはないと考えています。
- ③今後においても、交付税措置のある市債を活用することで、実質的な市の負担を減らすとともに、今後の市債の償還に備えて減債基金残高の確保を図ることにより、将来世代に過度の負担を残さない財政運営に努めてまいります。

II. 「災害に備えるまちづくり」について

1. 「災害時の情報弱者をなくすための取り組み」について

〈背景〉本市では、令和7年度末で市内355カ所に設置している屋外拡声塔の運用を停止する。そのため、スマホを所有していない方に、緊急告知FMラジオの購入補助事業が展開されているが、この事業は、私が市長に提案して実現したもので、人一倍思い入れのある事業である。

Question 1 緊急告知FMラジオの購入補助事業の実績は。

答弁：伊東市長

- ①現在、避難行動要支援者の方と、スマートフォンを所有していない方を対象に補助を実施しており、令和7年2月末現在で、828件の補助。



伊東市長

Question 2 災害時の情報弱者を0にするため、緊急告知FMラジオの更なる普及の取り組みは。

答弁：伊東市長

- ①令和7年度からは、倉敷市内の不特定多数の人が集まる施設(病院、社会福祉施設、店舗等)も補助対象とする予定としており、一斉地震対応訓練などで緊急告知FMラジオを活用することで、より多くの方に緊急情報伝達手段として、ラジオの有用性と必要性を認識していただき普及を図る予定。

2. 「インフラの管理(水道事業)」について

〈背景〉報道によると水道管は、全国で年間に約2万5000件もの漏水事故が起きており、老朽化が主な原因と言われている。また、発がん性が指摘される有機フッ素化合物のPFASが、国の目標値を超える数値が検出される事案が報道されており、水道事業に対して市民の関心も高まっている。

Question 1 本市における水道管の漏水件数や管路の点検状況は。

答弁：古谷水道事業管理者

- ①配水管の漏水件数は、令和5年度は116件でしたが道路陥没や水が吹き上がるような、市民生活に影響を及ぼす漏水はありませんでした。また、漏水が発生しても、配水池などの施設の監視システムにより、早期に把握できる体制を整えております。
- ②管路点検は、3年で市内全域を一巡する計画的な漏水調査を行っておりますが、来年度は、デジタル技術を活用した取り組みとして県内9市町村と連携し、人工衛星を使った漏水調査を実施予定としております。



古谷水道事業管理者

Question 2 PFASに関する水質管理は。

答弁:古谷水道事業管理者

- ①PFASにつきましては、令和2年に国が暫定目標値を示したため、翌年から年2回の水質検査を実施しております。昨今の社会的な関心の高まりをうけ、今年度からは年4回に検査回数を増やし、年間を通じて安全な水道水を供給しております。
- ②令和6年度は国が示す暫定目標値1リットルあたり50ナノグラム以下に対して、市内の給水栓で検出された値は最大26ナノグラムであり、安全性を確認しております。

Ⅲ.「子育てするなら倉敷でと言われるまちづくり」について

1.「放課後児童クラブの待機児童」について

〈背景〉本市では、仕事などで昼間に保護者がいない家庭の児童を専用の施設で預かり、育児と仕事の両立を支援するため、放課後児童クラブを174クラブから179クラブに拡充するなど、待機児童対策に取り組まれている。

Question 1

一部地域では、低学年でも入所できない場合があり、お仕事をしながら子育てをされている世帯が苦慮されている現状も見受けられるが、市内の待機児童の現状と対策は。

答弁:森保健福祉局長

- ①令和6年4月時点の放課後児童クラブの待機児童数は45名となっておりますが、児童クラブの利用希望者が年々増加している中、利用定員を増やすことで待機児童数は減少しております。
- ②学区の状況により、待機を余儀なくされている児童がおりますが、これまでも、小学校の余裕教室の改修や民間施設の確保により、児童の受入れを進め令和7年度には130人分の受け入れ定員の増加を見込んでおります。
- ③放課後児童支援員の確保につきましては、その仕事の魅力を知っていただき児童クラブで働いてもらうことにつなげるため、広報紙に特集記事を掲載したほか、今年度は新たな取り組みとして、一般の方も参加可能な研修を実施いたしました。
- ④今後についても、保育を必要とする児童を可能な限り受入れるため、児童クラブ施設及び支援員の確保に努め、入所希望者を最大限受入れできるよう努めてまいります。



森保健福祉局長

2.「屋内運動場エアコン整備事業」について

〈背景〉本市では、小中学校及び特別支援学校の全教室へのエアコン設置を完了し、適切な学習環境の整備に努めている中、令和7年度当初予算に、断熱化改修が完了する小学校7校、中学校2校の屋内運動場にエアコンを設置する事業が上程された。

Question 1

屋内運動場エアコン整備事業の具体的な整備内容や学校名、対象学校の選定理由や優先順位の考え方。加えて、今後の設置スケジュールは。

答弁:早瀬教育次長

- ①本市では、災害時の避難所や夏季の体育の授業等における熱中症対策の面で、より安全が確保できるよう、国の計画期間である令和15年度までを目途に、外壁等の改修に併せて行う断熱化の完了した小中学校等の屋内運動場にエアコン整備を進めていくことといたしました。
- ②具体的な整備内容としましては、まずは断熱化を行い効果的なエアコン整備を行うべく、検討してまいります。
- ③令和7年度に設置する学校につきましては、既に断熱化が完了している「第三福田小学校」、今年度、断熱化が完了する「粒江小学校、本荘小学校」の3校に加え、令和7年度に大規模改修、外壁改修と併せて断熱化を行う「児島小学校、豊洲小学校、水島小学校、連島神亀小学校」の小学校4校、「連島南中学校、玉島西中学校」の中学校2校、計9校について、令和7年度末までの設置に向けて進めてまいります。
- ④優先順位と設置スケジュールについてですが、外壁等の劣化の状況に加え、屋内運動場が地域の災害時の避難所になることなども考慮しながら、総合的に判断してまいります。



早瀬教育次長

Ⅳ.「世界に誇れる文化・産業のまちづくり」について

1.「カーボンニュートラルの取り組み」について

〈背景〉カーボンニュートラルの取り組みは、地球温暖化の抑制や気候変動の緩和、環境保全などにおいて必要不可欠となっている中、本市では、水島立地企業と包括連携協定を締結している。

Question 1

協定の目的や概要、成果は。

答弁:伊東市長

- ①本市は令和4年3月以降、三菱自動車工業、新来島サノヤス造船、旭化成の3社と包括連携協定を締結しました。この協定の目的は、市内立地企業と具体的な取組を定めて官民連携を推進することでイノベーション創出等を図り、カーボンニュートラルの実現を目指すものです。

- ②各社との取組概要と成果につきましては、まず、三菱自動車工業とは、電気自動車の普及に向け、本市所有の電気自動車を活用した実証実験等を行いました。
- ③日本郵便を連携に加え、実証データを活用することで、昨年10月に児島郵便局への急速充電器設置につなげることができました。
- ④新来島サノヤス造船については、本市奨励金による支援等により国内初のLNG燃料タンク製造設備を整備し、製品の製造、出荷が始まっています。

Question 2 2月初旬に旭化成株式会社と本市は、旭化成株式会社のゼオライト系CO2分離回収技術を使用したバイオガス精製システムの性能評価・実証に向けて本システムを、児島下水処理場に新たに設置した。この実証計画の概要・目的・期待される効果は。

答弁:伊東市長

- ①今月4日より児島下水処理場においてCO₂分離回収システムの実証実験を開始しました。
- ②実証の概要は、CO₂の吸着剤であるゼオライトを用いて下水汚泥から発生したバイオガスからCO₂を除去し、高純度のバイオメタンを精製するものです。天然ガスの代替となるバイオメタンの精製とCO₂分離回収技術は、カーボンニュートラル実現に向けて重要な技術であり、本実証で十分な成果が得られることを期待しています。

2.「全国工場夜景サミット開催事業」について

Question 1 令和7年度当初予算案に全国工場夜景サミット開催事業が計上されている。本事業の目的や内容、期待される効果は。また、サミット開催に合わせて、水島立地企業と連携し、工場夜景プロモーションなどを行い、一体感のある取り組みも必要と考えるが、本市の所見は。

答弁:伊東市長

- ①本市では、工場夜景都市としての認知度向上を図り、他都市との交流を通じて夜型観光の更なる推進を目指すため、「全国工場夜景都市協議会」への加盟及び全国工場夜景サミットの開催を予定しています。
- ②サミットでは、プレゼンテーションやパネルディスカッション等を中心に、地域の魅力を生かしたプログラムの実施を予定しており、本市の工場夜景を全国に発信し、新たな観光誘客につなげていきたいと考えています。
- ③水島コンビナート企業と連携した取組として、各企業の特色ある工場夜景を、プロモーション動画や夜景クルーズ等で紹介する予定としており、企業PRも含めた情報発信によって、地域一体でサミット開催に向けた機運の醸成を図っていききたいと考えています。

V.「温(ぬく)もりあふれる健康長寿のまちづくり」について

1.「交通不便地域への対応」について

〈背景〉倉敷市地域公共交通計画が策定され、計画の目的は、本市が目指すまちの将来像を実現するための公共交通のあり方や、市民や地域企業・交通事業者・行政の役割を定め、各主体が連携し地域公共交通の維持・充実を図ること。一方、本市で、交通不便地域に住む市民は、平成27年時点で約20万8,000人、そのうち65歳以上の高齢者の人口は約5万6,000人。

Question 1 交通不便地域への行政の役割は、市民の移動手段を確保し生活の質を向上させることであるが、これまでの取り組みと実績は。

答弁:堀越建設局長

- ①本市では、交通不便地域にお住まいの方の移動手段を確保するため、倉敷市地域公共交通計画に基づき、コミュニティタクシー制度の普及や運行支援などに努めているところです。
- ②市内のコミュニティタクシーについては、補助制度を創設した平成18年度に、3地区で運行が開始され、現在は10地区まで拡大しております。また、令和5年度までの利用者の累計は、約38万人となっております。



堀越建設局長

2.「ボランティア送迎支援事業」について

〈背景〉この事業は、公共交通を補完し地域の移動を支援するため、非営利法人が行うボランティア送迎に要する経費を助成する事業であり、私が住む中島でもこの事業が展開されている。私は2022年6月議会において、ボランティア送迎への補助金の創設を求めた。

Question 1 この事業の目的と概要、及び、市内でのボランティア送迎の現状は。

答弁:堀越建設局長

- ①市内のボランティア送迎につきましては、現在、社会福祉法人や、地区社会福祉協議会などが行っております。
- ②ボランティア送迎支援事業につきましては、既存の路線バス・コミュニティタクシー等の公共交通を補完し、高齢者などの買い物や通院等に利用していただくため、社会福祉法人、地区社会福祉協議会、コミュニティ協議会が行うボランティア送迎を支援するものです。
- ③補助の概要につきましては、車両のリース料・燃料費・ボランティア保険料などの活動に係る経費について、補助率1/2以内で年間30万円を限度に支援したいと考えております。

令和7年度当初予算(会計別予算)

(単位:百万円、%)

会 計 名		令和7年度 当初予算額	令和6年度 6月補正後予算額 (初日議決分予算額を除く)	増減率
一 般 会 計		211,984	209,142	1.4
特別会計	国民健康保険事業	44,025	44,618	△1.3
	介護保険事業	48,727	46,934	3.8
	母子父子寡婦福祉資金貸付	87	114	△23.6
	後期高齢者医療事業	8,653	8,895	△2.7
	計	101,492	100,561	0.9
財 産 区 会 計		44	41	6.3
企業会計	下 水 道 事 業	29,945	30,567	△2.0
	水 道 事 業	15,726	15,015	4.7
	市 民 病 院 事 業	4,554	4,426	2.9
	モ ー タ ー ボ ー ト 共 創 事 業	61,129	64,377	△5.0
	計	111,354	114,385	△2.7
合 計		424,874	424,129	0.2

子ども医療費助成事業



通院・入院ともに中学校3年生までの医療費を助成(無料化)します。

事業費/24億5,310万円
●主な経費/扶助費
●担当課/保健福祉局 医療給付課

重 公 屋内運動場エアコン整備事業 **新規**



断熱化改修が完了する小学校7校、中学校2校の屋内運動場にエアコンを設置します。

事業費/2億1,711万円
●主な経費/施設整備委託料
●担当課/教育委員会 教育施設課

重 公 全国工場夜景サミット開催事業 **新規**



全国工場夜景サミットを開催します。

事業費/215万円
●主な経費/事業運営委託料
●担当課/文化産業局 観光課

重 公 緊急告知FMラジオ購入費補助事業



緊急情報の入手手段を多様化するため、緊急告知FMラジオの購入費の一部を助成します。
補助額 税込2,000円で購入できるように差額を助成。

事業費/473万円
●主な経費/事務委託料
●担当課/総務局 危機管理課

重 公 施設予約システム運用事業 **新規**



公共施設の予約管理業務について、電子申請やオンライン決済等を利用できる施設予約システムを導入します。

事業費/5,560万円(債務負担行為1,363万円)
●主な経費/システム構築委託料 システム利用料
●担当課/企画財政局 デジタルガバメント推進室

重 公 ボランティア送迎支援事業 **新規**



公共交通を補完し地域の移動を支援するため、非営利法人が行うボランティア送迎に要する経費を助成します。

事業費/330万円
●主な経費/補助金
●担当課/建設局 交通政策課



市民の皆様からのご意見やご相談を受け付けています。
お気軽にお声がけやお電話・ホームページ・facebook・LINEなどにてご連絡いただければ幸いです。



ホームページはこちら▶